



学習障害 (LD) の子は、どんなことに困っているの？

学習障害 (LD) の児童は、知的な発達の遅れはないのに、「読み書き」「話すこと」「計算・推論」の力のうち、1つまたは2つ以上極端に苦手であることが特徴です。



症状には個人差がありますが、主な特性として、次の3つがあります。

1 読字障害 (読みの困難)

- ・一文字ずつ区切って読む。
- ・文字や行を読み飛ばすことが多い。
- ・語尾や文末を読み間違えることが多い。
- ・どこで区切って読めばいいのか分からない。
- ・「ろ」と「る」など形が似ている文字を見分けることが難しい。
- ・自分で書いた字が読めない。



2 書字表出障害 (書きの困難)

- ・ひらがなで書けない文字がある。
- ・カタカナの習得が難しい。
- ・漢字が覚えられない。忘れやすい。部分的に間違える。
- ・鏡文字になる。
- ・助詞の「は」を「わ」と書く。

3 算数障害 (算数・推論の困難)

- ・数を数えるのが苦手。
- ・「3番目」と「3つ」の違いが分からない。
- ・時計が読めない。
- ・繰り上がり・繰り下がりが理解できない。
- ・九九がなかなか覚えられない。
- ・図形の模写が困難。



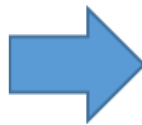
こうした困難さがあると、学習がスムーズに進まず、時間もかかる為、周りからは「やる気がない。」「努力が足りない。」と誤解されることがあります。これは、子どもにとって大きなストレスとなり、さらには、自信をなくしていくことに繋がります。

特性や本人の気持ちを理解し、頑張りをしっかり褒め、「できた！」という自信をつけていきたいと思えます。

そこで、通級指導教室では、例えば、次のような学習をしています。

子ども達の声

「こんなことに困っています！」



そこで、かがやき教室では・・・

「“わざと？さぼっている？”と、思われる」



- ・すらすら読めない。
- ・どこで区切ったらいいのかわからない。
- ・カタカナや漢字がわからない。
→ 「人が読むの聞いて、覚えて言っている。」
「でも学年が上がったら、内容が難しくなって、文章も長くて分からなくなった。」
- ・みんなが読む速さについていけない。
→ 「授業中は、読むふりをしている。」
- ・みんなと同じ宿題は、一人ではしんどい。
→ 「僕は、おうちの人に書いてもらったり、学校で先生と一緒にやったりしている。」

○ビジョントレーニング

- ・眼球の動き・空間認知能力を高める。

○事前学習

- ・先に、登場人物の確認・あらすじ・言葉の意味・漢字の読み等を学習しておく。

○音声教材デイジーを活用

- ・文のまとまりが分かる。
- ・全ふりがな付きなので読める。
- ・再生される音声を聞きながら内容を理解する。

○個別学習プリント

- ・拡大プリント・ヒントカード付プリントで学習。

偉人エジソンやアインシュタインも学習障害だと言われています。世界的に有名なトム・クルーズやスティーブン・スピルバーグも学習障害であることを告白しています。自分に合った学習方法を見つけて、前向きに取り組めるといいですね。

